

令和7年度 当初予算の概要

「選ばれる町、住みたい町」の実現に向けて

一般会計

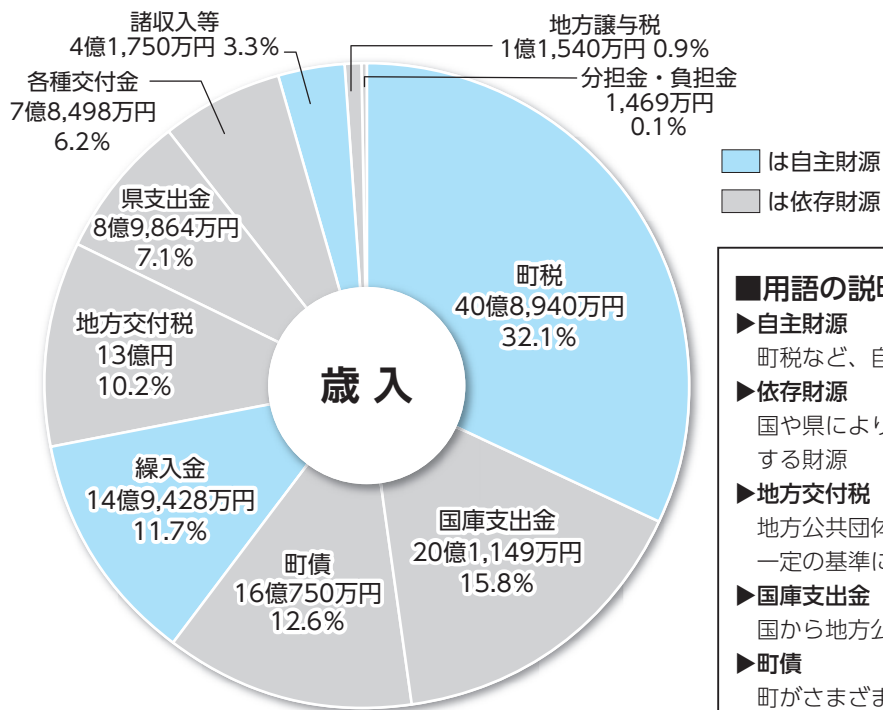
127億3,388万円の使い道

令和7年度当初予算が3月定例議会において可決されました。

一般会計予算127億3,388万円、特別会計予算は59億2,338万円、総額予算186億5,726万円となりました。

問合せ…総合政策課財政係 ☎35-1238

一般会計歳入



用語の説明

- ▶自主財源
町税など、自主的に収入として得ることができる財源
- ▶依存財源
国や県により決定された額を交付されたり、割り当てられたりする財源
- ▶地方交付税
地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行できるよう、一定の基準により国から交付されるお金
- ▶国庫支出金
国から地方公共団体に支出される補助金や委託金
- ▶町債
町がさまざまな事業を行う際に、借り入れるお金

歳入の特徴

自主財源では、歳入の32・1%で大部分を占める町税については、定額減税の影響が減少するため、1億7787万円の増額となりました（前年度比4・6%増）。

繰入金は財政調整基金繰入金等の増により、5458万円の増額となっています（前年度比3・8%増）。
依存財源では、国庫支出金が児童手当交付金や保健センター等複合施設建設補助などにより5億4287万円の増額となっています（前年度比37・0%増）。

町債（町の借入）は、保健センター等複合施設の建設工事や男女センター等の複合化工事、中学校体育館等の空調工事等の実施により10億980万円の増額となっています（前年度比169・0%増）。これらは後年に交付税措置が見込めます。

地方交付税は、国が発表した地方財対策等の内容を踏まえ、9000万円の増額となりました（前年度比7・4%増）。

歳出の特徴

歳出については、昨今の厳しい財政状況を踏まえ、事業の必要性および緊急性などを十分に検討し、徹底した抑制を行うとともに、社会保障

予算編成の基本的な考え方

政府は、我が国の経済について、33年ぶりの高水準の賃上げが実現し、成長と分配の好循環が動き始めており、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」に移行できるかどうかの分岐点にあるとしています。そのような状況の中、物価上昇を上回る賃金上昇の普及・定着、官民連携による投資の拡大、防災・減災および国土強靱化、充実した少子化・こども政策の着実な実施など、重要政策課題に必要な予算措置を講じ、メリハリの利いた予算編成と効果的・効率的な支出を徹底することとしています。

町では「第5次上里町総合振興計画」を主軸とし、町の将来像を「ひと・まち・自然が共に輝く、ハートモニータウン かみさと」と掲げ、各施策がバランスよく推進され、調和のとれた「ハートモニータウン」の形成をめざしています。令和7年度も「選ばれる町、住み続けたい町」の実現に向けて、最大限の努力を持って取り組んでまいります。

■一般会計・特別会計・企業会計当初予算

区分	会計名	令和7年度 予算額	令和6年度 予算額	増減率 (%)
一般会計		127億3,388万円	107億4,900万円	18.5
特別会計	国民健康保険	32億5,471万円	32億3,776万円	0.5
	介護保険	22億1,821万円	20億8,535万円	6.4
	後期高齢者医療	4億5,047万円	4億4,545万円	1.1
企業会計	水道事業	20億6,390万円	10億9,928万円	87.8
	下水道事業	8億4,881万円	8億1,932万円	3.6
	農業集落排水事業	2,257万円	2,385万円	▲5.4

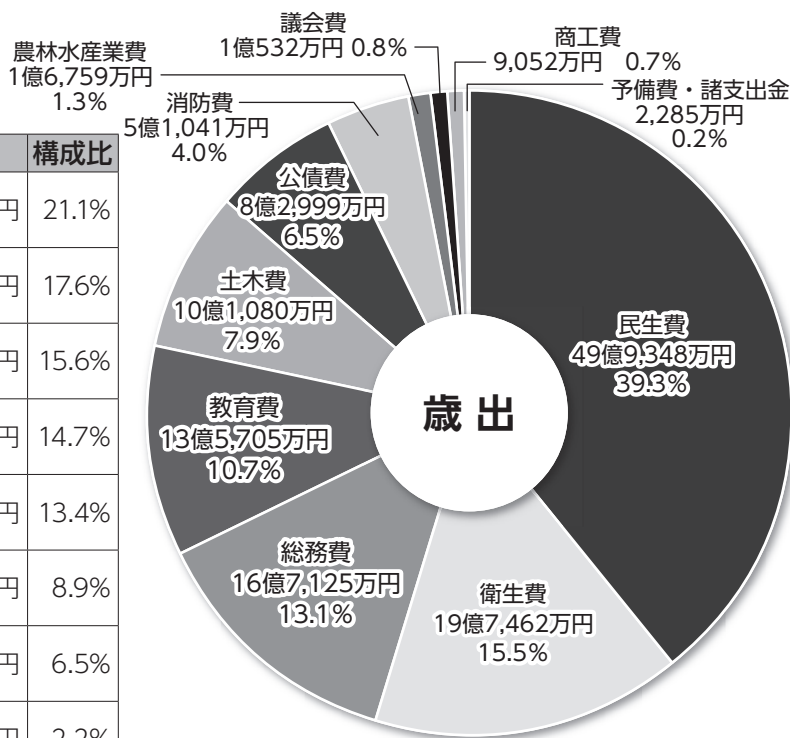
※①1万円未満四捨五入

②水道事業、下水道事業および農業集落排水事業は収益的支出と資本的支出の合計額です。

一般会計歳出

■主な歳出性質分類

区分	予算額	構成比
扶助費 (子育て、教育、健康・医療などの費用)	26億9,227万円	21.1%
普通建設事業費 (道路や施設の建設経費などの費用)	22億4,683万円	17.6%
人件費 (職員の給料や手当などの費用)	19億8,091万円	15.6%
補助費等 (補助金や負担金、税金の還付などの費用)	18億7,807万円	14.7%
物件費 (備品などの購入経費や委託料、光熱水費などの費用)	17億640万円	13.4%
繰出金 (一般会計から特別会計に支出する費用)	11億2,699万円	8.9%
公債費 (借入金の返済に要する費用)	8億2,999万円	6.5%
その他	2億7,242万円	2.2%



関連施策やまちづくりの基本となる各計画に基づいた事業の推進を図り、将来の財政負担等を考慮したうえで、持続可能な行財政運営に取り組んでまいります。

民生費では、児童や高齢者、障害者への福祉施策を行います。今年度は男女センター・児童館・公民館を複合するための改修工事を行います（前年度比21・0%増）。

衛生費では、昨年度に引き続き保健センター等複合施設の建設工事を行います（前年度比62・5%増）。

総務費は、職員給与費や財産管理に係る経費などを計上しています。今年度はデマンド交通の導入や国勢調査などを行います（前年度比12・6%増）。

教育費では、中学校体育館等の空調設備設置工事や町民体育館のトイレ改修工事、学校給食費の一部補助などを行います（前年度比10・1%増）。

土木費では、藤木戸・勝場線の歩道整備や駅北まちづくり事業などを推進します。今年度は国道17号バイパスの建設に伴う負担金が発生しています（前年度比1・3%減）。

消防費では、防災力の強化、充実を図るため、消防団車両や県の衛星系防災行政無線施設の更新が行われます（前年度比8・3%増）。

令和7年度 主な事業と予算額

主な事業と予算額を、町の基本政策に基づき紹介します。（特別会計含む）

◎…新規事業 ○…一部新規事業 1万円未満四捨五入

健やかで安心なまち

○保健センター等複合施設整備事業 10億4,355万円

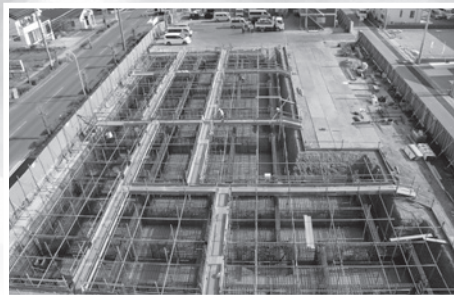
保健センター、福祉町民センターおよび老人福祉センターの機能を備えた複合施設について、年度内の供用開始を目指し継続して工事を行います。

◎高齢者福祉センター運営事業 736万円

複合施設内の高齢者福祉事業の充実を図ります。

○男女センター・児童館・公民館複合化事業 4億6,880万円

七本木公民館の機能を男女センターおよび七本木児童館の建物に統合するための改修工事を行います。



建設中の保健センター等複合施設

快適で安全なまち

○公共交通ネットワーク事業 8,420万円

公共交通の利便性の向上を図るため、運行形態の見直しやデマンド交通の導入を行います。

○藤木戸勝場線歩道整備事業 1億5,109万円

小中学生の通学路の安全確保と地域住民の利便性向上のため、歩道整備を進めます。

◎物価高騰対策水道基本料金等減免 6,733万円

物価高騰の支援策として、水道基本料金等を4か月補助します。



歩道整備を進める藤木戸勝場線

実り豊かなまち

○農業振興事業 1,475万円

新規就農や環境保全型農業に取り組む農業者への支援および認定農業者など担い手農家の育成、地元農産物の地域消費の拡大等に取り組めます。

・商工業振興事業 5,076万円

町商工会補助金や指定企業奨励金の助成等により、地域経済の活性化を図ります。

・観光振興事業 558万円

町の経済活性化や観光資源の活用を促進し、にぎわいのあるまちづくりを推進します。



町の発展を担う重要拠点このはなパーク上里

人が輝くまち

○教育委員会事務局運営事業 1億5,715万円

町立小中学校の給食費の一部補助などを行います。

○中学校管理運営事業 2億3,709万円

各中学校体育館等に空調設備の設置を行うなど、教育環境の改善、充実を図ります。

○体育施設管理運営事業 8,935万円

町民体育館のトイレ改修工事などにより、体育施設の適正管理と生涯スポーツの振興を推進します。

みんなで支えあうまち

○情報ネットワーク事業 1億3,193万円

役場業務におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）を積極的に推進し、効率的な行政運営を行います。

・児玉郡市広域市町村圏組合負担金 8億5,800万円

本庄児玉地域の消防・清掃業務等を実施する組合への負担金です。

4月1日から

役場組織が新設・改編されました

行政サービスのさらなる向上と効果的・効率的な行政運営を目指して、組織の見直しを行いました。

≪3月31日まで≫

課名	係名
産業振興課 【☎ 35-1232】	産業観光係
	地域整備係
	農地係

課の新設

課名・係名の変更

≪4月1日からの組織と主な業務≫

課名	係名	主な業務内容
地域活力創造課 【☎ 35-1235】	活力創造係	観光・商工業の振興、統計、企業誘致に関すること

課名	係名	主な業務内容
農業振興課 【☎ 35-1232】	農業振興係	農業の振興に関すること
	農地整備係	土地改良区、農業土木事業に関すること
	農地係	農業委員会、農地中間管理事業に関すること

課名	係名
健康保険課 (保健センター) 【☎ 33-2550】	健康支援係
	保健推進係

係の新設

係名	主な業務内容
保健庶務係	(仮称)保健センター等複合施設の施設管理に関すること
健康支援係	健康づくり事業、保健指導に関すること
保健推進係	母子保健事業、感染症対策に関すること

問合せ…総務課秘書職員係 【☎ 35-1234】

町長コラム

山下博一



79

上里町「令和7年度 当初予算」のお話

今回は、落語の小ばなし風に、令和長屋に住んでいる熊さん・八さんの会話形式でお伝えします。

【熊】物価高騰による、米やガソリンなどの値上がりで生活が大変だよ。町は何か対策を考えてくれているのかな。
【八】町民のために、独自の支援策を考えているよ。一般家庭、事業所などを対象に、4月から7月までの水道基本料金等を減免してくれるよ。

【熊】それは、助かるね。そのほかに何かあるの？
【八】まだまだあるよ！町内小中学校の児童生徒を対象に、学校給食費の一部を補助するよ。また、子育て世帯への訪問支援もあるよ。家事や子育てに不安を抱える、妊産婦、ヤングケアラー等の家庭を支援員が訪問して、家庭や養育環境を整え、子育て環境の充実をはかるそうだよ！

【熊】上里町は保育料の無償化により、子育て世代の流入が増えているようだね！
【八】0歳から2歳児の保育料無償化で、子育て世代の注目を浴びたね。
令和7年度には、産後ケア事業を立ち上げるよ。この事



業は、1歳未満の乳児および母親を対象に、産後の心身不調や育児不安等がある方に対して、助産師がケアするもので訪問型、日帰り型、宿泊型が用意されているよ。安心して子育てに取り組めるね！
また、産婦検診を1回から2回に拡充したよ。産後ケアの充実が図られて、安心して子育てができる環境整備に努めているね！
【熊】高齢者にとっても、何かよいことは無いのかい？
【八】あるある！現在、役場東側に建設中の高齢者福祉センター運営事業では、健康増進のため施設建設や、高齢者が笑顔になれる健康講座等を開催するよ！
また、加齢性難聴者に対して補聴器などの購入費補助があるよ。上里町の高齢者へのきめ細やかな支援事業も充実してきたよ！
そんな、上里町に住み続けたいかなるよね！